

# CHIBA 赤十字NOW

2024  
Vol. **67**

私たちができること

インドネシア防災強化事業 防災教育研修を受けた教員による学校防災授業©インドネシア赤十字社

発行所/日本赤十字社千葉県支部  
〒260-8509 千葉市中央区千葉港5-7  
TEL 043-241-7531 FAX 043-248-6812  
<https://www.chiba.jrc.or.jp/>



日本赤十字社 千葉県支部  
Japanese Red Cross Society

赤十字活動へのご寄付はこちらから





# NHK海外たすけあい

今年のテーマは、「たすけあうことが希望への道をひらく」。  
今回は千葉県支部が支援する4か国の現状をご紹介します。12月は海外で苦しんでいる人に目を向ける月にしませんか？

## NHK海外たすけあいとは？

NHK海外たすけあいとは毎年**12月1日から25日**まで、  
NHK と日本赤十字社が共催している募金キャンペーン。  
寄せられた募金は、日本赤十字社を通じて、**世界各地で、紛争、災害、病気などに苦しむ人々のために役立てられます。**

## イスラエル・ガザ人道危機だけじゃない

世界全体では、相次ぐ武力紛争や暴力行為、激甚化する自然災害、深刻な食料危機など、様々な人道危機が複合して起こったことにより、多くの人々が命をつなぐための支援を必要としています。その数1億人以上。

イスラエル・ガザなど**報道で目にする地域以外で苦しんでいる方にも、救いの手を差し伸べることができるのが、「NHK海外たすけあい」募金です。**

## 千葉県支部が支援する4つの国

千葉県支部も現場の最前線で活動する海外赤十字社を、資金面や職員派遣によって支援しています。

今回は、千葉県支部が支援する4か国の状況と支援内容をご紹介します。

## ラオス救急法普及支援事業



心肺蘇生の練習をする高校生たち©日本赤十字社

ラオスでは、インフラ整備が不十分であることから、地方部で雨季には洪水や地滑等の自然災害が頻発しており、都市部では、経済発展に伴う道路交通量の増加の一方で交通事故が多発しています。医療体制も十分でない背景があり、地域住民が自分たちで応急手当を実施できるようになることが重要です。

### 【支援内容】

- ・救急法資機材の整備、教材の改訂
- ・救急法指導員の養成
- ・学校における救急法講習の実施
- ・地域コミュニティ対象の救急法普及啓発イベントを開催 他



## バヌアツ青少年赤十字海外支援事業



小学生が災害リスク軽減の授業を受け地震時に「しゃがんで」「動かず」「頭を守る」を練習する様子©バヌアツ赤十字社

バヌアツは、オーストラリアの北東に位置し、83の島からなる島国です。同国は自然災害リスクが高く防災への意識が高いことから、日赤は2017年度からバヌアツ赤十字社が行う防災教育事業を支援しています。

### 【支援内容】

- ・バヌアツの教育訓練省とのパートナーシップ強化による支援体制の整備
- ・教師対象の研修に防災研修を導入
- ・授業計画に防災教育を導入
- ・学校に災害情報掲示板を配置 他

## 南スーダン紛争犠牲者支援事業



ICRCから供給されたかぼちゃの種を運ぶ女性たち©ICRC

2011年の独立以降も紛争が続く南スーダン。2024年現在も約230万人が周辺国に難民として流出し、約220万人が国内避難民となっています。

赤十字国際委員会（以下ICRC）は、南スーダン赤十字社と連携し、食料の配付や生活の自立支援、負傷者の医療支援、避難民の保護活動、こころのケア等を実施しており、日赤も資金援助や医療スタッフの派遣により同事業に貢献しています。



車いすバスケットボールの選手とICRCのスタッフ©ICRC

### 【支援内容】

- ・紛争犠牲者を受け入れるリハビリテーションセンターの運営強化、専門職の能力強化支援
- ・障がい者スポーツチームへの金銭的・技術的支援
- ・障がいのある子どもの学習支援、職業訓練 他

千葉県支部は、日赤で唯一義肢製作所を持つ支部として、リハビリテーションを運営している当事業を資金面から支えています。

## 日本から私たちができること

遠く離れた日本から、支援を必要としている人々に救いの手を差し伸べられるのが「NHK海外たすけあい」キャンペーン。世界で苦しんでいる人の希望の道をひらくために、皆さまのご協力をお願いいたします。



詳細はこちら



## インドネシア防災強化事業



生徒が先生と自作した防災のうたを披露©インドネシア赤十字社

アジア有数の災害多発国であるインドネシアでは、特に地方部での公共インフラ整備が著しく遅れています。

日赤は、2020年から、インドネシア赤十字社とともに同国ジャワ島南部の巨大地震の発生リスクの高い村落と学校を拠点に防災強化事業に取り組んでいます。

### 【支援内容】

- ・村落や学校周辺の災害リスク調査、防災マップ・避難ルートの策定
- ・家庭訪問による地域住民への啓発活動 他

## 青少年赤十字メンバーが国際交流



7月29日(月)から8月3日(土)にかけて、中学生4名、高校生4名の青少年赤十字メンバーがネパールを訪問し、現地の青少年赤十字メンバーと国際交流を行いました。

現地の赤十字活動を見学したほか、現地メンバーに浴衣を着てもらい、書道や折り紙、お味噌汁の試飲など日本文化を紹介し、お互いの文化や活動への理解を深めることができました。

## ジュニアライフセービング教室を開催



7月21日(日)、いなげの浜にて小学生を対象に赤十字ジュニアライフセービング教室を開催しました。

溺水時にランドセルなど身近なものを使って浮く方法や、ライフセービングで使用するニッパーボードの体験などを行いました。また、海上保安庁にもご協力いただき、ライフジャケットの着脱用法の説明やクイズを実施するなど、夏休みを前に水の事故防止に役立つ情報の普及を行いました。

## 九都県市合同防災訓練に参加

10月20日(日)、いすみ市内で行われた九都県市合同防災訓練(千葉県会場)に参加しました。

当支部は、災害発生の情報を受けて救護班を派遣し、成田赤十字病院の医師や看護師による傷病者の救護活動や、千葉県赤十字血液センターの車両による血液搬送訓練を行いました。

# REPORT

# &

# INFORMATION

## 活 動 報 告



## 救急法フェスタを開催

10月3日(木)、千葉県総合スポーツセンターを会場に赤十字救急法フェスタ2024を開催しました。

赤十字奉仕団と支部職員チームを合わせた計65チーム、260人が参加した「思いやりを紡ぐ包帯法」では、各チームが三角巾を用いて頭、前腕、膝の手当を行い、練習を重ねた成果を披露しました。

救助者役は「痛くないですか」「腕の間に三角巾を通しますね」などと傷病者役に優しく声をかけ、傷病者の不安な気持ちに寄り添う様子が見られました。



## 活動資金協力企業(団体)のご紹介

日本赤十字社の活動は、皆様から寄せいただく活動資金によって支えられており、赤十字活動の「大きな力」となっています。ご協力、誠にありがとうございました。

※令和5年度第四四半期に千葉県支部へ直接10万円以上のご寄付をいただき、掲載をご了解いただいた法人(団体)をご紹介します。

なお、千葉県支部のホームページにおいてもご紹介しています。(敬称略・五十音順)

姉ヶ崎カントリー倶楽部(市原市)  
エム・ティー・エム興産株式会社(市川市)  
かすみメンテナンス株式会社(松戸市)  
株式会社 サウンドハウス(成田市)  
株式会社 ジェーソン(柏市)  
学校法人 秀明大学(八千代市)

千葉県信用保証協会(千葉市中央区)  
マクハリノハマアート合同会社(千葉市美浜区)  
山十道路 株式会社(市原市)  
有限会社 吉野興業(君津市)  
株式会社 リロスタイル(市川市)